

宇美拓哉展

浮遊する記憶

宇美作品は、朽ちたような褐色の背景の中に女性像が配置されています。その女性は、うつむき、じっと目を閉じ、時にこちらを凝視するほどの視線を向けます。これらの作品は、宇美が古代ギリシャ神話から着想を得て、現代的な視点で再解釈し自己の内面にテーマを見出します。作品は、記憶の中にある輪郭のおぼろげなイメージや感情、祈りをこめた神話的響きに満たされています。本展では、宇美がこれまで過ごしてきた時間やできごとを凝縮して表現した作品を辿っていきます。作家の時間の記憶が同居する空間は、鑑賞者一人ひとりの心に揺さぶりをかけながら、重なり合うかもしれません。

宇美がおりなす空間に立ち立った瞬間、あなたを思索世界へと誘います。

関連イベント

アーティスト・トーク

同時代を生きるアーティストに会うことができるのは現代美術の楽しみのひとつです。作家自身の言葉で作品に込めた想いや創作のエピソードを語ります。

日時：2月9日（日）14：00～ | 2月23日（日）14：00～

講師：宇美拓哉

会場：八女市田崎廣助美術館展示室

定員：20名

参加費：無料

*申込不要

交通案内

車でお越しの場合

自家用/九州自動車道

八女IC～《約15分》、広川IC～《約20分》

駐車場無料（八女市役所立花支所の駐車場をご利用ください）

電車・バスでお越しの場合

※堀川バス・迎春平山線は平日のみ運行

天神・大牟田線 西鉄福岡駅（天神）～西鉄久留米駅

↓乗換 西鉄バス・八女方面「福島」《約35分》

↓乗換 堀川バス・迎春平山線「丸野」《約10分》

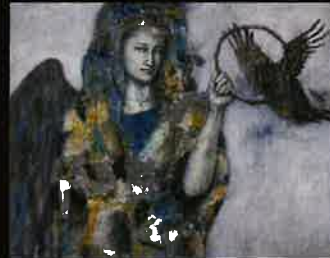
鹿児島本線 JR 博多駅～JR 羽犬塚駅

↓乗換 堀川バス・八女方面「福島」《約35分》

↓乗換 堀川バス・迎春平山線「丸野」《約10分》



《囚われの想い》2016年 作家蔵



《くぐり輪》2014年 作家蔵



《ミスト》2021年 作家蔵



《素描》1998年頃 作家蔵

宇美拓哉 (Umi Takuya)

現在、八女市在住。1972年筑後市に

生まれる。1990年福岡県立八女

高等学校を卒業後、カナダに渡り

オタワ市立美術学校に入校。4年間

絵画を学び1994年に修了。のち、

九州芸文館を始め、筑後地域を中心に

絵画講師を努めている。2006年

久留米市より芸術奨励賞受賞。2021年第80回記念水彩連盟展で

文部科学大臣賞受賞。ほか受賞歴多数。また日本美術家連盟会員、

水彩連盟会員、(公社)福岡県美術協会会員洋画部会委員長等に

所属し、美術活動をととして地域文化の発展にも尽力している。



八女市田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1

TEL...0943-24-8304

https://www.city.yame.fukuoka.jp/art_museum/



D.design kanabo

高山朱美 (Akemi Takayama)